

指導者研修 単元内容例表

《単元Ⅰ ガールスカウト運動の理解》ガールスカウト運動の基本となる部分を理解する。

Ⅰ－1 GS運動の歴史と創始者の願い	・運動がおこった時代背景と現代社会 ・ガールスカウト運動の歴史 ・創始者の願いと創始者が提案した教育方法 ・ガールスカウティングと宗教について理解を深める	など
Ⅰ－2 GS運動の理念	・ガールスカウト運動の理念を理解する ・「やくそくとおきて」の基本原則、価値観についての理解を深める ・ガールスカウトの使命、目指すものを理解する	など
Ⅰ－3 社会におけるGS運動の意義	・現代社会におけるニーズ ・女性による少女と女性のための社会教育団体の意味 ・女性の能力開発(エンパワメント)の場であること ・一人ひとりが運動推進者の一員であるということ ・ガールスカウトがノンフォーマル教育であるということ ・責任ある世界市民を育てることを目指していること ・成人の生涯学習の場としてのガールスカウト	など
Ⅰ－4 WAGGGSと日本のガールスカウト	・WAGGGSの使命、日本連盟の使命、目指すものがつながっていること ・団の組織から世界連盟へのつながり(組織的なつながり)(団構成もはいる) ・教育内容の一貫性(WAGGGSと日本連盟との間でのつながり。 例えば、WAGGGSの活動テーマに基づいた活動) ・WAGGGSの取り組み(例えば活動のテーマなど) ・WAGGGSと日本連盟ビジョン、戦略的目標	など
Ⅰ－5 GS日本連盟の教育活動	・ガールスカウト教育の特徴を理解する ・WAGGGSの取り組みを受けた日本連盟の教育活動 ・日本連盟独自の教育活動	など

《単元Ⅱ ガールスカウト運動を実践するための知識と技術》

- ・ガールスカウト教育を実践するための知識と方法を学ぶ。
- ・個々の活動のために必要な技術やノウハウの習得を目指す。
- ・運営部門の研修では、少女の教育活動の支援のための組織運営、社会にガールスカウトを広げるための組織運営の方法を取得することを旨とする。

Ⅱ－1 ガールスカウトの特徴的な方法を使った教育の実践	・「やくそくとおきて」を少女の活動に生かすために ・一人ひとりの少女の心身の発達に合わせた自己開発について学ぶ(段階的な自己開発) ・体験による学習という方法について学ぶ ・ガールスカウト教育の中の奉仕活動の位置づけについて理解する ・野外での活動という方法について学ぶ ・少女と成人の積極的な協力による教育効果について学ぶ ・シンボルを使うことの意義を学ぶ ・国際的な活動の重要性を学ぶ ・プロジェクトを使っの教育方法について学ぶ ・ガールスカウト教育がノンフォーマル教育であることを学ぶ ・ガールスカウトバッジ、部門バッジなどバッジシステムを利用した教育方法について学ぶ ・ガールスカウト活動における儀式(意味と方法・旗の扱いなど) ・少女への指導と支援の方法について学ぶ(例えばファシリテーター、メンター、コーチ(コーチング)コーディネーターなど) ・事業などの企画書作成、評価の方法を学ぶ ・ねらいを持った活動プログラムの立て方を学ぶ	など
Ⅱ－2 『自己開発』のための活動	・少女を取り巻く環境を理解し、共感、受容の大切さを学ぶ ・少女のニーズを理解する ・一人ひとりの少女の成長を手助けする(段階的な自己開発)方法を学ぶ ・ファシリテーションについて学ぶ ・少女の自尊心を育てるために必要なことを学ぶ ・少女の自己表現能力、コミュニケーション能力の向上のために必要なことを学ぶ ・クラフト、ソングを学ぶ	など
Ⅱ－3 『人とのまじわり』のための活動	・価値観の違いを理解(国、宗教、文化、民族の違いなどによる価値観、文化の違いを理解)する活動について学ぶ ・広い視野を持つために必要な活動について学ぶ ・国際理解教育、開発教育、平和教育について学ぶ ・人権一期の向上について学ぶ ・ジェンダー、子どもの人権について理解する ・権利と責任 ・女性のエンパワメントについて学ぶ ・男性とのパートナーシップのあり方について学ぶ ・活動の中のレクリエーションの意義を理解する。 ・レクリエーションの方法を学ぶ	など

Ⅱ－4 『自然とともに』のための活動	・神への畏敬の念、命の大切さを伝える方法を学ぶ ・野外で活動する意義を理解する ・さまざまな野外活動の知識、技術を学ぶ ・宿泊を伴う活動の意義を理解する ・キャンプの技術の意味を知る ・キャンプを楽しむ ・自然環境について学ぶ ・野外で安全に活動するために必要なことを学ぶ	など
Ⅱ－5 活動の安全	・安全に活動するために必要な技術(救急法、インターネット関係の安全などを身につける) ・少女が自らの安全を確保できるようにするための教育活動方法を理解する ・規律ある活動をする意味を理解する	など
Ⅱ－6 現代的課題を扱う活動	・環境問題、いじめの問題、ESD、情報教育など、現代社会での課題、問題となっていることについて理解を深め、集会への取り入れ方法を学ぶ	など
Ⅱ－7 団運営に関する内容	・団の運営方法(団委員会の運営、リーダーの確保、新入会者へのアプローチ、保護者との関係、財政、会計処理の方法など)について学ぶ ・少女の活動を支える組織のあり方を考える ・支部などガールスカウトの組織運動に必要なことを学ぶ ・後継者の育成方法を考える	など
Ⅱ－8 運動としての組織の広がりに関する内容	・会員増強、新団の開拓など組織の拡充の方法を学ぶ ・賛助会員など支援者の確保の方法を学ぶ	など
Ⅱ－9 社会との連携に関する内容	・行政機関や他団体との連携の必要性を理解する ・行政機関や他団体との連携をはかるための方法を探る ・地域社会の理解をえる方法を探る	など
Ⅱ－10 広報活動に関する内容	・社会にガールスカウト運動を知らせるための方法、広報の方法を学ぶ	など
Ⅱ－11 運営に関する諸問題について	・現代的課題に対応し、組織の運営を円滑にする方法を考える	など

※単元Ⅱ 1～6は教育部門 7～9は運営部門

《単元Ⅲ 楽しい集会～集例会とそのねらい～》

- ・様々な活動を組み合わせ、一連の集会としてどんなねらいで、どの活動をおこなうかを実習を通して学ぶ。

Ⅲ－1 『自己開発』	・自己の能力に気づくことのできる集会 ・できないことにチャレンジする集会 ・得意なことをさらに磨く集会 など、集例会の実習とそのねらいを理解する。
Ⅲ－2 『人とのまじわり』	・奉仕、国際理解(交流)、異年齢交流、ギャザリング、パトロールミーティング などを体験する集例会の実習とそのねらいを理解する。
Ⅲ－3 『自然とともに』	・野外での活動、キャンプ、環境について学ぶ活動(農業、林業、漁業体験など) ・土、水、木、空気を知る活動 などをふくんだ集例会の実習をそのねらいを理解する
Ⅲ－4 その他の活動	・1～3にあてはまらない集例会の実習をそのねらいを理解する

《単元Ⅳ 指導者自身の向上のために》

- ・ガールスカウト指導者として、また成人として、広く社会の問題となっていることや自らの能力開発のために学ぶ。

Ⅳ－1 少女の活動を支えるため	・少女の心を理解する方法を学ぶ ・少女の活動を支援するためのリーダー自身が身につけるとよいことを学ぶ ・少女のコミュニケーション能力を向上させるために必要なことを身につける	など
Ⅳ－2 ガールスカウトの組織を支えるために	・ガールスカウトが運動体として組織を強化するために必要な技術を身につける ・少女の活動を充実させるための組織を作るために成人が必要とする技術を身につける。	など
Ⅳ－3 指導者自身の自己研修	・自分自身を高める努力をする ・成人のガールスカウト運動への関わり方である、ボランティアの意味と価値 ・国際協力に関する活動について学ぶ ・さまざまな会議の方法を身につける ・合意形成の方法を身につける ・メディアリテラシー、個人情報、ITの知識と利用など、情報の使い方について学ぶ ・創造的な生き方を目指す ・生涯学習の場としてのガールスカウト ・評価の方法を学ぶ ・自己表現法を身につける	など